



面接対策

ナレッジ武装した求職者にどう対応するか？



最近、国際的な金融不安が世界各地に暗い影を落としています。

インターネットなどを通して、情報は瞬時に国境を越え、その情報に振り回されるかのように金融市場は毎日のように暴落・暴騰を繰り返し、今もまだその動揺が続いている状況です。

ネット社会となったいま、その功罪はいろいろ言われています。

NHK の番組で紹介されていましたが、ある大学では、提出されたレポートの半数近くがコピーで作成されていたそうです。また、夏休み中の小中学生向けに開設された「コピーで書ける読書感想文」というサイトがアクセス数を伸ばしていることが紹介されていました。子供たちは、本を読まずに丸写しした内容をそのまま提出することもあるそうです。

その賛否はともかくとして、就職の場においても、さまざまな情報やサービスが溢れ、学生たちはそういった情報やサービスを駆使して、就職活動に臨んでいます。

私たちはそういった事を理解した上で、コピーに長け、ナレッジ武装した求職者の本質を見抜く必要がありますね。



履歴書添削、モギメン、就活コーチングといったサービスも…

ここで、求職者向けに今どんなサービスがあるか、その一例をご紹介しますと思います。

履歴書の書き方や、マナーや常識・業界研究・面接対策に関するさまざまな情報サイトだけでなく、最近は履歴書やエントリーシートの無料添削サービスがあります。

また、毎日コミュニケーションズでは、リアル面接シミュレーター「モギメン」といったサービスも開始しています。

この「モギメン」は、面接の流れや対応の仕方を、自宅にいながら実践形式で繰り返し練習することができるツールです。さまざまな質問がランダムに出てくるため、何度も繰り返し練習し、面接力をアップさせることが出来るそうです。

さらに、就職活動に関するコーチングサービスもあるようです。

電話や対面によって、自己分析からエントリーシート対策・面接対策・企業分析に関するアドバイスを受けることが出来るサービスです。1回の電話・対面で数千円といったお手軽版から、数十万円の完全サポートサービスまでいろいろあるようです。

面接官からよく聞かれる33の質問



さすがにコンサルティングのサービスまで受けている求職者は少ないでしょうが、しかし、面接対策として、想定質問とそれに対する回答を自分なりに用意している求職者は多いはずです。

転職サイト DODA（デュード）では、面接対策として、「面接官はコレが知りたい～よく聞かれる33の質問」を紹介し、それぞれの質問について回答の注意点などを詳しく解説しています。

以下に、その33の質問を抜粋してご紹介します。

人間性・志向・仕事観	やりたいこと・できること
01. 自己紹介をお願いします 02. ご自身の強み・長所を教えてください 03. ご自身の弱み・短所を教えてください 04. 仕事で大切だと思うこと・こだわりは？ 05. 仕事のやりがい・喜びは何ですか？ 06. 最近仕事以外で関心のあるニュースは？ 07. まわりの方のあなたへの評価は？ 08. あなたにとって仕事とは何ですか？	20. この仕事でもっとも重要な資質は？ 21. 経験やスキルを当社でどう活かしますか？ 22. 当社でやりたいこと・挑戦したいことは？ 23. 今のあなたの課題は何ですか？ 24. 身に付けたいスキルは何かありますか？
職歴・経験	キャリアプラン
09. 今までの職歴・経歴を教えてください 10. 仕事での誇れる実績や成功体験は？ 11. 仕事で大きな失敗やミスをしたことは？	25. 今後のキャリアプランをお聞かせ下さい 26. 将来の夢は何ですか？
転職理由	諸条件
12. 転職理由は何でしょうか？ 13. 前職へ入社する際の志望動機は？	27. 勤務地についての希望はありますか？ 28. 現在の年収、希望の年収は？ 29. 残業や休日出勤は許容できますか？ 30. 入社可能時期はいつですか？ 31. 内定を出したらご入社頂けますか？ 32. 他の雇用形態や職種でも良いですか？
志望動機	最後に
14. 数ある企業の中でなぜ当社なのですか？ 15. この職を志望した理由は何ですか？ 16. 転職先を選ぶ基準は何でしょうか？ 17. 他に受けている業界・企業はありますか？ 18. 当社のサービス・商品をご存じですか？ 19. この業界の今後をどうお考えですか？	33. なにか質問はありますか？



いかがでしょうか？ 恐らく、皆さんがしていらっしゃる質問が数多くあるのではないかと思います。

真面目に就職活動に取り組む求職者ほど、熱心に情報収集に努め、万全の回答を用意しています。

そんな用意された回答の裏に潜む、求職者の本質を探る面接スタイルが、いま私たちには必要とされているのではないのでしょうか？

地域情報化委員会では、11月25日に「戦力化する人材を見極める為の新卒採用テクニックとは」というタイトルで採用担当支援セミナーを開催いたします。そのセミナーでは面接のテクニックなども紹介されますので、ご興味のある方はぜひセミナーにご出席頂けると幸いです。

下記サイトを参考にいたしました。

●毎日コミュニケーションズの「マイナビ 2009」より

- ・リアル模擬面接シミュレーター モギメン

<http://job.mynavi.jp/conts/2009/mogimen/>

●インテリジェンスの「転職サイト DODA」より

- ・面接官はコレを知りたい よく聞かれる 33 の質問

<http://doda.jp/guide/manual/4/002.html>